

**議会改革の取り組み
(一部紹介)**

本市では、平成18年度から議会改革検討会を開催し議会改革に取り組んできました。平成24年3月から議会改革特別委員会を設置し、より一層の議会改革に取り組んでいます。その一部を紹介します。

意見交換会

昨年から意見交換会を始め、今年も、昨年に引き続き意見交換会を開催しました。

今年の2月に開催した意見交換会の内容の一部を紹介します。

意見交換会をとおして、今後の議会活動に反映してまいります。

お忙しい中、意見交換会に参加していただきました団体の方々、施設の皆様、貴重なご意見・ご回答、ありがとうございます。

(文教・厚生常任委員のメンバーによる意見交換会)

文教・厚生常任委員のメンバーが介護施設を訪問。施設で働く方々と意見交換会を開催(2月5日～27日)

(訪問施設)

「かなはし苑」「花の家」「香久山インパレス」「檀原園」「花てまり」「桃寿園」「ぼればれ」「檀原の郷」

(意見交換等)

Q 貴事業所ではどのような課題に力を入れているのか。
A 地域に根差した施設として、通所介護・リハビリ、訪問リハビリ、短期入所等、相互の理解を深め、在宅生活を支援する体制整備を構築している。チームワークを大切にし、働きやすい職場、スキルアップに力を入れている。

Q 介護職員の処遇改善についての対応状況は。
A 安心・安全な職場環境の充実、職員の交流機会の充実、研修会の確保、産休・育休の充実、福利厚生の充実。

Q 地域包括ケアシステム構築に向けての考えは。
A コーディネートできる人材育成と地域の医療拠点が必要。ランチ機能の強化。NPO法人や地域の底力の活用。運営に専念しなければならず、行政の先導が必要。

Q 介護保険制度の問題点等、意見・要望は。
A 介護報酬の引き下げは、職員の確保が困難で、介護環境の質の低下に繋がる。多種多様な施設が増え、選ぶ側に情報が正しく伝わらず混乱しているように思われ、サービスの質の低下も懸念される。

(意見交換を終えて)

介護事業者が景気動向に左右されないような支援が必要。安定した質の高い労働力を確保しなければ、檀原市でも2025年問題は乗り切れない。相談事業・ランチ事業等、より良い仕組みやあり方を探り、提言していきたい。

(総務・建設常任委員のメンバーによる意見交換会)

総務・建設常任委員のメンバーが、万葉ホールにて「緊急災害時における飲み水について」をテーマとし、商工会議所建設部会の方々と意見交換会を開催(2月18日)。「檀原市上下水道協同組合と檀原市は災害時における緊急災害時の応援業務に関する協定を結んでいるが、この協定を可能にするために」を主として意見交換。

(意見交換等)

Q どのような機械工具や運搬用トラックなどの資機材の確保しているのか。
A 檀原市水道局と檀原市上下水道協同組合は、平成21年2月15日に災害防止協定を締結した。平成21年2月15日現在、各社合計でユニボが31台、ダンプカー39台、発電機29台、水中ポンプ35台である。

Q 修理チームは何班体制で考えているのか。
A 災害等緊急対策業務出動支援隊連絡網という形で、協同組合のほうから3班。1班は8社である。

Q 組合の各会社とその社員とが、携帯電話などで連絡がつかない状況になった場合、どのように集合して、応援に来てもらえるのか。
A 携帯がつかない場合は、阪神大震災の例で言えば、災害が起きた際に、まず会社へ集合することになっている。

Q 集合してもらう各チームの方々が、檀原市と連携するために、どのような訓練をしているのか
A 昨年も水道局と一緒に訓練を実施している。

(意見交換を終えて)

災害時には、自助・共助・公助の役割が求められる中、日ごろからの連携・協力は非常に需要である。市民の皆様とともに防災に対して環境の充実を図っていきたい。